

就労支援に ソーシャルワークを どう使う？ どう活かす？

2019テーマ
「Social×コラボ×連携」

「精神障害者が働くこと」は一昔前は難しいと言われていましたが、就労系のサービスも整い、現在では「精神障害者が働くこと」は当たり前になりつつあります。そのような流れの中で、精神障害者の就労支援にPSWは必要なのか？という疑問がわいてきました。

今回の研修は、8月23日に大阪で行われた職業リハビリテーション学会の自主企画「企業×福祉×医療 持続可能な職業リハビリテーションにおける精神保健福祉士の可能性」の続編になります。続編では、それぞれの立場から3名のシンポジストに登壇いただき、事例を通してのそれぞれの役割や現場での関わり方、連携などについてお話いただきます。また、それを受けて参加者同士でのグループワークを行う予定です。

PSWが持つ専門性と固有の価値を就労支援に活かすためには・・・そもそも、就労支援は手段であって目的ではない・・・などなど、皆さんで「就労支援にソーシャルワークをどう使う？どう活かす？」を一緒に考えてみませんか？

【シンポジスト】

福祉：松田琴美氏
(NPO法人大阪精神障害者
就労支援ネットワークJSN門真)
医療：溝上亮二氏
(三家クリニック)
企業：加藤直人氏
(EAPコンサルティングセンター)

日程	2020年 3月1日(日)
時間	13:30～16:30(受付13:00～)
会場	社会福祉会館 405
参加費	会員:無料 非会員:5000円

申し込み

2020年2月21日(金)までに別紙にてお申し込みください。
(定員 30名)

お問い合わせ

psw.cu2014osaka@gmail.com まで
(氏名、所属機関などの記載がない場合は連絡できません
のでご了承ください)